

選択した検査結果統一規格ファイルを読み込んで表示します。この画面はインポートした検査結果を表示する画面となっている為入力できません。

患者コード	姓	名	検査日	検査時間	検査時間分	検査名称	タイムスタンプ	結果値	不審
000000001	中野	花子	20020507			尿糖定性	前	88	
000000001	中野	花子	20020507			K	後	3.5	
000000001	中野	花子	20020507			Cl	前	104	
000000001	中野	花子	20020507			Cl	後	104	
000000001	中野	花子	20020507			Ca	前	10.3	
000000001	中野	花子	20020507			Ca	後	11.1	
000000001	中野	花子	20020507			P	前	7.0	
000000001	中野	花子	20020507			P	後	3.7	
000000001	中野	花子	20020507			Mg	前	2.9	
000000001	中野	花子	20020507			Mg	後	2.1	
000000001	中野	花子	20020507			尿糖定性	後	34	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス pH	前	7.404	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス HCO3	前	26.2	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス Pco2	前	43.2	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス Po2	前	126.1	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス BE	前	1.9	
000000001	中野	花子	20020507			クレアチニン	前	17.3	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス BB	前	48.5	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス Tco2	前	27.5	
000000001	中野	花子	20020507			クレアチニン	後	7.8	
000000001	中野	花子	20020507			尿酸	前	7.8	
000000001	中野	花子	20020507			尿酸	後	2.5	
000000001	中野	花子	20020507			Na	前	142	
000000001	中野	花子	20020507			Na	後	143	
000000001	中野	花子	20020507			K	前	5.1	
000000001	中野	花子	20020507			赤血球	前	328	
000000001	中野	花子	20020507			フェリチン	前	98	
000000001	中野	花子	20020507			ヘモグロビン	前	5.5	
000000001	中野	花子	20020507			ヘマトクリット	前	28.4	

内容を確認して [完了] ボタンを押下すると、全てのデータについて入力チェックを行います。

入力チェックの結果エラーとなったデータは検査結果インポートエラーとして表示されます。エラー箇所は背景色が黄色で表示されます。下図では患者登録されていない患者コードの背景色がエラーとなっています。

患者コード	姓	名	検査日	検査時間	検査時間分	検査名称	タイムスタンプ	結果値	不審
1234567890			20020506			尿糖定性	前	96	
1234567890			20020506			K	後	2.7	
1234567890			20020506			Cl	前	100	
1234567890			20020506			Cl	後	101	
1234567890			20020506			Ca	前	9.5	
1234567890			20020506			Ca	後	8.5	
1234567890			20020506			P	前	6.8	
1234567890			20020506			P	後	2.5	
1234567890			20020506			Mg	前	2.3	
1234567890			20020506			Mg	後	2.0	
1234567890			20020506			尿糖定性	後	30	
1234567890			20020506			血液ガス pH	前	7.394	
1234567890			20020506			血液ガス HCO3	前	20.4	
1234567890			20020506			血液ガス Pco2	前	34.5	
1234567890			20020506			血液ガス Po2	前	78.8	
1234567890			20020506			血液ガス BE	前	-3.1	
1234567890			20020506			クレアチニン	前	12.2	
1234567890			20020506			血液ガス BB	前	44.8	
1234567890			20020506			血液ガス Tco2	前	21.5	
1234567890			20020506			クレアチニン	後	4.7	
1234567890			20020506			尿酸	前	7.4	
1234567890			20020506			尿酸	後	1.7	
1234567890			20020506			Na	前	136	
1234567890			20020506			Na	後	140	
1234567890			20020506			K	前	3.7	
1234567890			20020506			赤血球	前	338	
1234567890			20020506			フェリチン	前	15	
1234567890			20020506			ヘモグロビン	前	9.6	
1234567890			20020506			ヘマトクリット	前	28.7	

エラー箇所を修正して [更新] ボタンを押下すると、エラーデータについて再度入力チェックを行います。エラーが存在する間は検査結果データベースの更新を行わず、この作業の繰り返しとなります。

全てのエラーを修正して [更新] ボタンを押下すると、削除ボタンで削除したデータが存在する時に限り、削除データの印刷確認メッセージが表示されます。

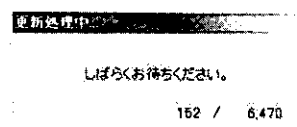


エラーデータが無くなると修正内容を反映した検査結果インポート画面に戻ります。この時点ではデータベースへの登録はまだされていません。

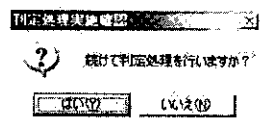
患者コード	姓	名	生年月日	検査時間	検査時間分	検査名称	タイミング	検査値	不備
000000001	中野	花子	20020507			尿糖検査	前	88	
000000001	中野	花子	20020507			K	後	9.5	
000000001	中野	花子	20020507			C	前	104	
000000001	中野	花子	20020507			C	後	104	
000000001	中野	花子	20020507			Ca	前	10.9	
000000001	中野	花子	20020507			Ca	後	11.1	
000000001	中野	花子	20020507			P	前	7.2	
000000001	中野	花子	20020507			P	後	9.7	
000000001	中野	花子	20020507			Mg	前	2.8	
000000001	中野	花子	20020507			Mg	後	2.1	
000000001	中野	花子	20020507			尿糖検査	後	94	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス pH	前	7.404	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス HCO3	前	26.2	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス Pco2	前	42.2	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス Po2	前	126.1	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス BE	前	1.6	
000000001	中野	花子	20020507			クレアチニン	前	17.3	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス BB	前	48.6	
000000001	中野	花子	20020507			血液ガス Tco2	前	27.5	
000000001	中野	花子	20020507			クレアチニン	後	7.8	
000000001	中野	花子	20020507			尿酸	前	7.8	
000000001	中野	花子	20020507			尿酸	後	2.6	
000000001	中野	花子	20020507			Na	前	142	
000000001	中野	花子	20020507			Na	後	143	
000000001	中野	花子	20020507			K	前	5.1	
000000001	中野	花子	20020507			赤血球	前	326	
000000001	中野	花子	20020507			フェリチン	前	98	
000000001	中野	花子	20020507			ヘモグロビン	前	9.5	
000000001	中野	花子	20020507			ヘマトクリット	前	29.4	

[完了] ボタンを押下すると全てのデータについて入力チェックを行い、エラーデータが存在しなければデータベースへの更新処理が始まり、更新状況を示す画面が表示されます。

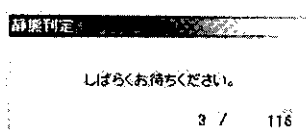
検査結果統一規格ファイルにエラーデータが存在しないときは、検査結果インポートエラー画面は表示されず、データベースへの更新処理が始まり、更新状況を示す画面が表示されます。



更新処理は時間がかかります。更新処理が終わるまでそのまま暫くお待ち下さい。更新が終わると、続けて判定処理を行うかどうかの確認画面が表示されます。続けて判定処理を行うときは [はい] ボタンを押下します。行わないときは [いいえ] ボタンを押下します。



「はい」を押下すると、判定状況を示す画面が表示されます。判定は、静態判定、動態判定、相関判定、貧血判定（全患者）、貧血判定（貧血患者）、カルシウム、リン判定の順に進みます。



判定処理は時間がかかります。判定処理が終わるまでそのまま暫くお待ち下さい。

※判定処理は、透析前後で測定する検査項目については尿素窒素後の最新の採取日を基準日として処理を行います。透析前後で測定する検査項目で基準日以降の結果については判定処理では使用されません。

8.10.2 検査結果ファイルの統一規格

「半角」とは、1 byte で表す文字（例：A, B, a, b, 1, 2, い, ロ, ハ）を言い、全角とは、2 byte で表す文字（例：A, B, a, b, い, ろ, イ, ロ, 月, 日）を言う。MINT では、半角のカタカナは使用しない。

各項目の byte 数は最大有効桁数で、これを超えない範囲なら必要とする byte 数を使える。但し、「前ゼロ」「前空白」「後空白」の表記のある項目は、ゼロ又は空白を前か後ろに置いて行って最大有効桁数をフルに使用しなければならない。

ファイルフォーマット	説明
ファイル形式	csv (Comma Separated Value) 形式のテキストファイル
文字コード	シフト JIS
メディア	当座はオフラインで 2HD の FD を、将来は、HDD, CD-ROM, MO, ネットワークドライブ等の PC (Windows) で読み込み可能な全てを使用する予定
FD のタイトル又はプロトコル	ファイルの 1 レコード目に記録して FD のタイトルになる

FD のタイトル又はプロトコル	byte	必須	説明
施設コード (※1)	8	○	災害時システムで既に医会が付与した施設コード [半角・数字・右詰・前ゼロ]
診療科	10	○	“維持透析” [左詰・固定文字列]
検査所・医療施設の区別	1	○	“1” 検査所, “2” 医療施設 [半角・数字]

(※1) 施設コードは、MINT 端末でパスワードとして用いられ施設略称（又は通称）を呼び出す。施設略称は、災害時システムで決定した全角左詰めのを 30 byte に広げ、予め会員の同意を得て使用する予定。

レコードレイアウト	byte	必須	説明
患者コード (※2)	10	○	原則として、施設で使用中の一意の患者コードを採用 [半角・英数字・左詰]
採取年月日	8	○	“yyyymmdd” 西暦暦日 [半角・数字・前ゼロ]
採取時分	5		“hh:mm” 24 時間表記 [半角・数字・前ゼロ]
採取順番	2	○	同一項目・年月日での採取順番 [半角・数字・右詰]
タイミング	2		“前”, “後” (治療前後の区別) [全角]
検査項目名称	24	○	医会が定める検査項目名称 ローマ字の小文字, 大文字は識別 [全角・左詰]
検査値	8		検査不能時は空白 [半角・英数字・左詰・小数点付き]
不等号等	2		“<” “>” “<=” “>=” [半角・英字・左詰]
単位	8		[全角・半角・左詰]
コメントコード	4		検体, 結果に付与するコメントのコード (例: 乳ビ, 溶血, 測定条件等をコード化) [半角・英数字・左詰]

(※2) プライバシー保護のため、患者姓名・カルテ番号は使いたくないので、各病院に患者コードを付番して貰う。但し、カルテ番号を一意の患者コードとして使用出来る (死亡, 転院を含め同一患者に対して 2 度と同じ番号を使用しない) 場合はカルテ番号を施設患者コードと見做せる。

8.10.3 医会が定めた検査項目と単位

項目	単位	対応する検査法
赤血球	万/ μ L	
ヘマトクリット	%	
ヘモグロビン	g/dL	
白血球	/ μ L	
血小板	万/ μ L	
網状赤血球	%	
末梢白血球像 桿状核球	%	
末梢白血球像 分葉核球	%	
末梢白血球像 好酸球	%	
末梢白血球像 好塩基球	%	
末梢白血球像 単球	%	
末梢白血球像 リンパ球	%	
末梢白血球像 その他	%	
MCV	fL	
MCH	pg	
MCHC	%	
フェリチン	ng/mL	
UIBC	μ g/dL	
トランスフェリン	mg/dL	
便潜血反応	+-	
尿素窒素	mg/dL	

項目	単位	対応する検査法
クレアチニン	mg/dL	
尿酸	mg/dL	
Na	mEq/L	
K	mEq/L	
Cl	mEq/L	
Ca	mg/dL	
P	mg/dL	
Mg	mg/dL	
鉄	μ g/dL	
総蛋白	g/dL	
アルブミン	g/dL	
蛋白分画 Alb	%	
蛋白分画 α 1	%	
蛋白分画 α 2	%	
蛋白分画 β	%	
蛋白分画 γ	%	
蛋白分画 A/G 比		
総コレステロール	mg/dL	
中性脂肪	mg/dL	
β -リポ蛋白	mg/dL	
遊離脂肪酸	mEq/L	
HDL-コレステロール	mg/dL	
AST (GOT)	IU/L	
ALT (GPT)	IU/L	
LDH P-L 法	IU/L	SSCC 標準化対応法, GSCC 標準化対応法, SFBC 標準化対応法, P-L UW 法 W-LD 法
LDH L-P 法	IU/L	JSCC 標準化対応法, L-P (NAD) UW 法
ZTT	U	
TTT	U	
γ -GTP	IU/L	
Ch-E ベンゾイル	IU/L	ベンゾイルコリン基質法
Ch-E ブチリルチオ	IU/L	ブチリルチオコリン基質法
Ch-E ジメトキシベン	IU/L	ジメトキシベンゾイルチオコリン基質法
Ch-E ヒドロベン	IU/L	(p-, 3, 4-) ヒドロキシベンゾイルコリン基質法
Ch-E その他法		
LAP L β NA 法	G-R 単位	L-ロイシル- β -ナフチルアミド基質法
LAP LPNA 法	IU/L	L-ロイシル-p-ニトロアニリド基質法
LAP LCH 法	IU/L	L-ロイシル-3-カルボキシ-4-ヒドロキシアニリド基質法
LAP LA 法	IU/L	L-ロイシンアミド基質法
LAP その他法		
CPK	IU/L	
総ビリルビン	mg/dL	
ALP	IU/L	
アイソザイム ALP 1	%	
アイソザイム ALP 2	%	

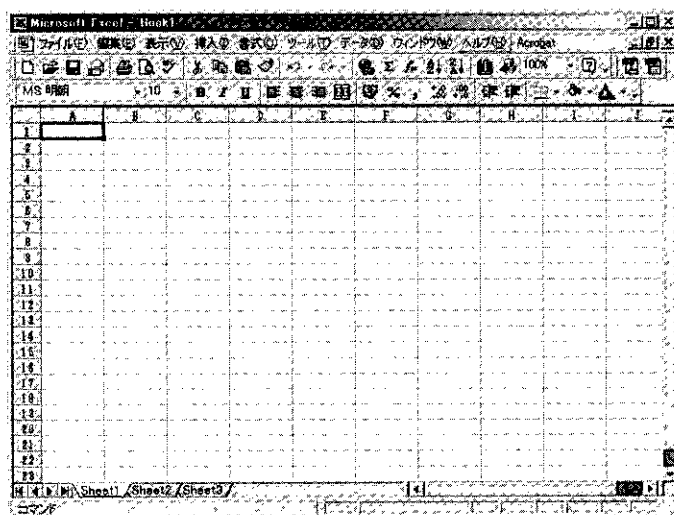
項目	単位	対応する検査法
アイソザイム ALP 3	%	
アイソザイム ALP 4	%	
アイソザイム ALP 5	%	
アミラーゼ	IU/L	
血糖 (グルコース)	mg/dL	
HbA1c	%	
CRP	mg/dL	
血液ガス pH		
血液ガス Pco ₂	Torr	
血液ガス Po ₂	Torr	
血液ガス BE	mEq/L	
血液ガス BB	mEq/L	
血液ガス Tco ₂	Torr	
血液ガス HCO ₃	mEq/L	
Intact-PTH	pg/mL	
β 2-マイクログロブリン	mg/L	
アルミニウム	μ g/L	
HANP	pg/mL	
AFP	ng/mL	
PIVKA-II	mAU/mL	
HBs 抗原	+-	
HBs 抗体	+-	
IgM 型 HBc 抗体	+-	
HCV 抗体	+-	
梅毒血清反応 TPHA	+-	
梅毒血清反応 ガラス板法	+-	
梅毒血清反応 RPR 法	+-	
BAP	IU/L	
フルクトサミン	μ mol/L	
グリコアルブミン	%	
1, 5 AG	μ g/mL	
C-ペプチド	ng/mL	
血沈 30 min	mm/30 min	
血沈 1 hr	mm/1 hr	
血沈 2 hr	mm/2 hr	
シアル酸	mg/dL	
ATIII	%	
1, 25 (OH) ₂ D ₃	pg/mL	
カルシトニン	pg/mL	
オステオカルシン	ng/mL	
レニン活性	ng/mL/hr	
アンジオテンシン II	pg/mL	
アルドステロン	pg/mL	
HBe 抗原	+-	
HBe 抗体	+-	

項目	単位	対応する検査法
DNA ポリメラーゼ	+-	
HCV RNA 定性	+-	
HCV RNA 定量プローブ	Meq/mL	
HCV RNA 定量 PCR	KIU/mL	
HIV 抗体	+-	
HIV-1, 2 抗体	+-	
HTLV-I 抗体	+-	
IgG	mg/dL	
IgA	mg/dL	
IgM	mg/dL	
C 3	mg/dL	
C 4	mg/dL	
CH 5 0	IU/mL	
FT 3	pg/mL	
FT 4	ng/dL	
TSH	μ U/mL	
MRSA	+-	
結核菌 PCR	+-	

8.10.4 検査結果統一規格ファイル作成例

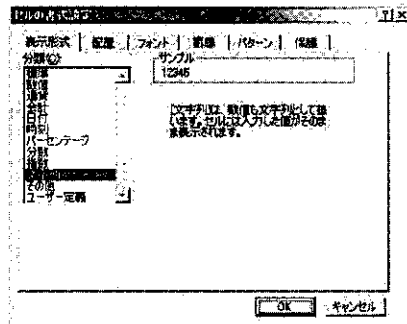
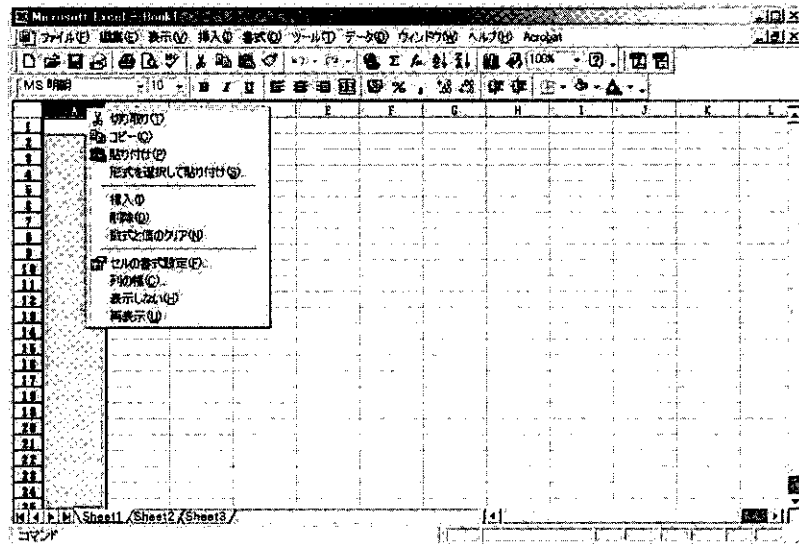
検査結果統一規格ファイルは CSV 形式（項目間をカンマで区切ったテキストファイル）のテキストファイルです。CSV 形式のテキストファイルは、Windows 付属のメモ帳の他、ワープロソフト、表計算ソフト等で作成できます。以下は、表計算ソフト Microsoft Excel 2000 を使用した検査結果統一規格ファイルの作成例です。

Microsoft Excel 2000 を起動します。



エクセルでは、特に設定しない限り、セル内がすべて数字ならば数値として扱われるため、余分な前ゼロは取り除かれます（例：00123 と入力すると 123 になる）。

前ゼロが必要なときは当該列の表示形式を文字列にします。例えば列 A の患者コードに前ゼロが必要なときは、[列 A のヘッダ選択]－[右ボタンクリック]－[セルの書式設定 (F)] でセルの書式設定ダイアログを表示し、[表示形式タブの分類]－[文字列]－[OK] で列 A の表示形式を文字列にします。



行1にはFDのタイトル又はプロトコルを入力します。

列Aに施設コードとして医会が付与した8桁のコードを、列Bに診療科として固定文字列の“維持透析”を、列Cに検査所・医療施設の区別として検査所ならば“1”，医療施設ならば“2”をそれぞれ入力します。

下図では、列Aの施設コードに01234567、列Bの診療科に維持透析、列Cに検査所・医療施設の区別をそれぞれ入力しています。

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet with the following data in row 1:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	01234567	維持透析	2										
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													

行2以降は検査結果を入力します。

列Aに患者コード、列Bに採取年月日、列Cに採取時分、列Dに採取順番、列Eにタイミング、列Fに検査項目名称、列Gに検査値、列Hに不等号等、列Iに単位、列Jにコメントをそれぞれ入力します。

タイミングは透析前後の区別として“前”“後”を、検査項目名称と単位は医会が定めた検査項目と単位を使用します。

システムは、患者コード+採取年月日+検査項目名称+採取順番+タイミングを処理単位としています。患者コード・採取年月日・検査項目名称は必須項目です。採取順番・タイミングは処理単位で重複しなければ省略可能ですので、透析前後でそれぞれ1つの結果のみの場合は採取順番を省略してタイミングのみで区別出来ます。

下図では、行 2 に 1 件目の検査結果として、列 A の患者コードに 1234567890、列 B の採取年月日に 20010521、列 C の採取時分は空白、列 D の採取順番に 1、列 E のタイミングに前、列 F の検査項目名称に尿素窒素、列 G の検査値に 71、列 H の不等号等は空白、列 I の単位に mg/dL、列 J のコメントは空白を入力しています。

行 3 に 2 件目の検査結果として、列 A の患者コードに 1234567890、列 B の採取年月日に 20010521、列 C の採取時分は空白、列 D の採取順番に 1、列 E のタイミングに前、列 F の検査項目名称にクレアチニン、列 G の検査値に 14.7、列 H の不等号等は空白、列 I の単位に mg/dL、列 J のコメントは空白を入力しています。

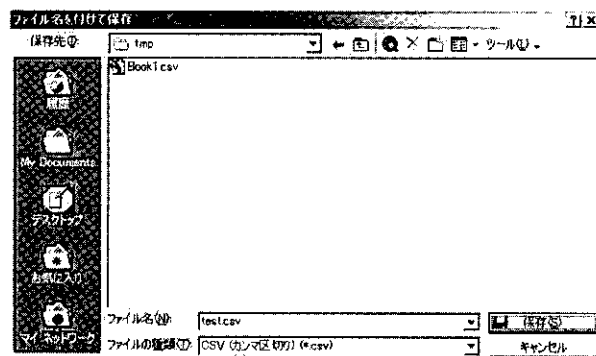
同様に、行 4 以降に検査結果を入力しています。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
01234567	検査時分									
1234567890	20010521		1	前	尿素窒素	71		mg/dL		
1234567890	20010521		1	前	クレアチニン	14.7		mg/dL		
1234567890	20010521		1	前	尿酸	7.1		mg/dL		
1234567890	20010521		1	前	Na	141		mg/dL		
1234567890	20010521		1	前	K	4.7		mg/dL		
1234567890	20010521		1	前	Cl	104		mg/dL		
1234567890	20010521		1	前	Ca	6.2		mg/dL		
1234567890	20010521		1	前	P	5.2		mg/dL		
1234567890	20010521		1	前	Mg	2.5		mg/dL		
1234567890	20010521		1	前	赤血球数	800		万/μL		
1234567890	20010521		1	前	ヘマトクリット	85		%		
1234567890	20010521		1	前	ヘモグロビン	19		g/dL		
1234567890	20010521		1	前	Hbα ₂ 抗原					
1234567890	20010521		1	前	Hbα ₁ 抗体					
1234567890	20010521		2	後	尿素窒素	29		mg/dL		
1234567890	20010521		2	後	クレアチニン	6.9		mg/dL		
1234567890	20010521		2	後	尿酸	1.9		mg/dL		
1234567890	20010521		2	後	Na	141		mg/dL		
1234567890	20010521		2	後	K	8.1		mg/dL		
1234567890	20010521		2	後	Cl	101		mg/dL		
1234567890	20010521		2	後	Ca	6.2		mg/dL		
1234567890	20010521		2	後	P	2.5		mg/dL		
1234567890	20010521		2	後	Mg	2		mg/dL		
2345678901	20010521		1	前	Ca	6.2		mg/dL		
2345678901	20010521		2	前	Ca	6.1		mg/dL		
2345678901	20010521		3	後	Ca	6		mg/dL		

[ファイル (F)]-[名前を付けて保存 (A)]-[保存 (S)] で、任意の保存先と任意のファイル名を指定し、ファイルの種類 (T) に CSV (カンマ区切り) (*.csv) を選択して、入力した患者情報をインポートファイルとして保存します。

「選択したファイルの種類は複数のシートを含むブックをサポートしていません。」
 「xxxx.csv には、CSV (カンマ区切り) と互換性のない機能が含まれている可能性があります。この形式でブックを保存しますか？」のメッセージには、いずれも [はい] を答えます。

下図では、保存先に tmp、ファイル名に test.csv を指定しています。



保存したインポートファイルをメモ帳で開くと次の通りです。

```

01234567.維持透析,2,,,,
1234567890,20010521,,1,前,尿酸窒素,71,,mg/dL
1234567890,20010521,,1,前,クレアチニン,14.7,,mg/dL
1234567890,20010521,,1,前,尿酸,7.1,,mg/dL
1234567890,20010521,,1,前,Na,141,,mEq/L
1234567890,20010521,,1,前,K,4.7,,mEq/L
1234567890,20010521,,1,前,Cl,104,,mEq/L
1234567890,20010521,,1,前,Ca,5.2,,mg/dL
1234567890,20010521,,1,前,P,5.2,,mg/dL
1234567890,20010521,,1,前,Mg,2.5,,mg/dL
1234567890,20010521,,1,前,赤血球数,300,,万/μL
1234567890,20010521,,1,前,ヘマトクリット,35,,%
1234567890,20010521,,1,前,ヘモグロビン,10,,g/dL
1234567890,20010521,,1,前,HBe抗原,-,+
1234567890,20010521,,1,前,HBe抗体,-,+
1234567890,20010521,,2,後,尿酸窒素,28,,mg/dL
1234567890,20010521,,2,後,クレアチニン,5.8,,mg/dL
1234567890,20010521,,2,後,尿酸,1.8,,mg/dL
1234567890,20010521,,2,後,Na,141,,mEq/L
1234567890,20010521,,2,後,K,3.1,,mEq/L
1234567890,20010521,,2,後,Cl,101,,mEq/L
1234567890,20010521,,2,後,Ca,5.2,,mg/dL
1234567890,20010521,,2,後,P,2.5,,mg/dL
1234567890,20010521,,2,後,Mg,2,,mg/dL
2345678901,20010521,,1,前,Ca,5.2,,mg/dL
2345678901,20010521,,2,前,Ca,5.1,,mg/dL
2345678901,20010521,,3,後,Ca,5,,mg/dL

```

8.11 判定指示・印刷指示

任意の患者を選択して判定指示または印刷指示をします。

項目	必須	説明
患者		患者評価表を印刷またはプレビューするときチェック
スタッフ		スタッフ評価表を印刷またはプレビューするときチェック
現所属患者を選択ボタン		現在所属している患者だけを選択
登録患者全てを選択ボタン		患者リスト全員を選択
選択解除ボタン		患者リスト全員を選択解除
判定ボタン		選択した患者の判定処理を行う
プレビューボタン		選択した患者の患者またはスタッフ評価表のプレビュー表示を行う
印刷ボタン		選択した患者の患者またはスタッフ評価表の印刷を行う
終了		終了

8.11.1 判定指示

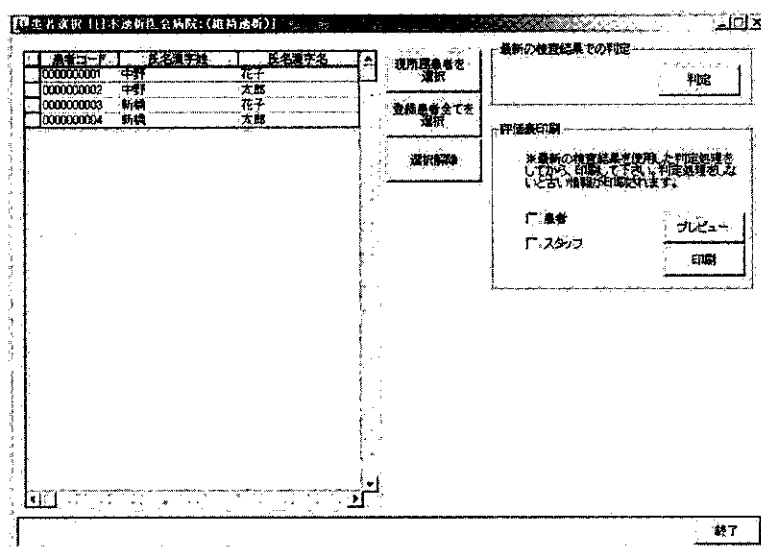
患者リストから判定する患者を選択します。行を押下すると選択され、再度押下すると選択解除となります。選択された患者は反転します。

他施設への転出患者や死亡患者を除いて、現在所属している患者のみを一括選択する時は、[現所属患者を選択] ボタンを押下します。

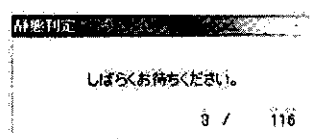
他施設への転出患者や死亡患者を含んだ登録患者全てを選択する時は、[登録患者全てを選択] ボタンを押下します。

選択を解除する時は、[選択解除] ボタンを押下します。

患者を選択して [判定] ボタンを押下すると最新の検査結果で自動判定します。



判定状況を示す画面が表示されます。判定は、静態判定、動態判定、相関判定、貧血判定（全患者）、貧血判定（貧血患者）、カルシウム・リン判定の順に進みます。



判定処理は時間がかかります。判定処理が終わるまでそのまま暫くお待ち下さい。

※判定処理は、透析前後で測定する検査項目については尿素窒素後の最新の採取日を基準日として処理を行います。透析前後で測定する検査項目で基準日以降の結果については判定処理では使用されません。

8.11.2 印刷指示

患者リストから印刷またはプレビューする患者を選択します。行を押下すると選択され、再度押下すると選択解除となります。選択された患者は反転します。

他施設への転出患者や死亡患者を除いて、現在所属している患者のみを一括選択する時は、[現所属患者を選択] ボタンを押下します。

他施設への転出患者や死亡患者を含んだ登録患者全てを選択する時は、[登録患者全てを選択] ボタンを押下します。

選択を解除する時は、[選択解除] ボタンを押下します。

プレビューは、プレビューする患者と評価表の種類をチェックして [プレビュー] ボタンを押下すると最新の判定結果を評価表としてプレビューします。

項目	採取日	結果値	許容範囲	単位	判定	コメント
尿蛋白	20020918	105	60~100	mg/dl	注意	蛋白量の増りすまやカロリー不足、腎臓の出血、透析不足のこと亦あります。(経過に變化は?)
尿蛋白	20020918	29	~60	mg/dl		
クレアチニン	20020918	19.2	7~18	mg/dl		
クレアチニン	20020918	4.5	~18	mg/dl		
尿酸	20020918	6.4	4~10	mg/dl		
尿酸	20020918	1.5	~7	mg/dl		
Na	20020918	134	134~146	mEq/L		
Na	20020918	141	134~145	mEq/L		
K	20020918	3.7	3.5~8	mEq/L		
K	20020918	2.8	2.5~6	mEq/L		
Cl	20020918	37	96~109	mEq/L		
Cl	20020918	98	95~105	mEq/L		
Ca	20020918	8.8	8.5~11	mg/dl		
Ca	20020918	11.0	9~11.5	mg/dl	注意	
P	20020918	5.2	3~6	mg/dl		
P	20020918	2.1	2~4.5	mg/dl		
Mg	20020918	2.3	1.5~3.5	mg/dl		
Mg	20020918	2.3	1.5~2.5	mg/dl		

印刷は、印刷する患者と評価表の種類をチェックして [印刷] ボタンを押下すると印刷設定画面が表示されます。必要事項を入力して [印刷] ボタンを押下すると最新の判定結果を評価表として印刷します。

印刷

全般

プリンタの選択
 Canon LaserJet A3002LPS3 (CALLSERVER_1)

状態: 準備完了 フォイル出力(有) 詳細設定(有)

場所:

コメント:

ページ範囲
 すべて
 ページ番号のみ
 ページ番号の範囲
 ページ番号の範囲、またページ範囲のみを入力してOK(有)例: 8-12

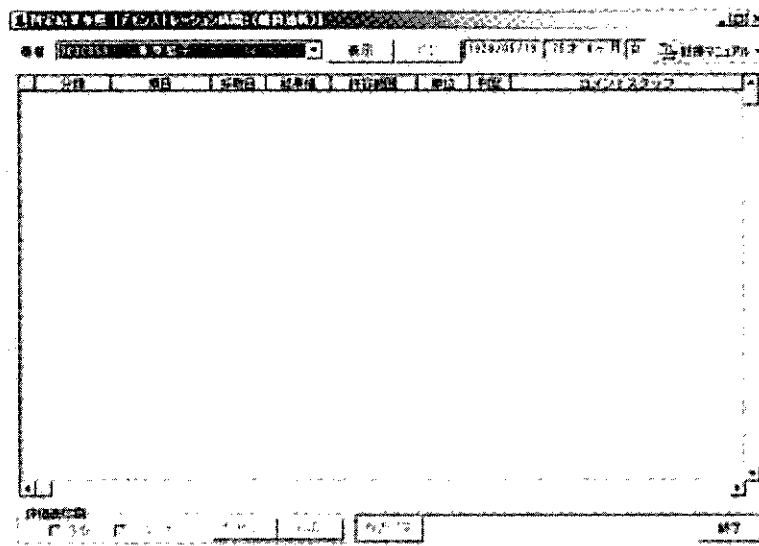
印刷(有)

8.12 判定結果参照

判定結果を患者毎に参照します。

項目	必須	説明
患者リスト	○	参照する患者を選択
患者		患者評価表を印刷またはプレビューするときチェック
スタッフ		スタッフ用評価表を印刷またはプレビューするときチェック
表示ボタン		選択した患者の判定結果を表示
切替ボタン		全項目表示されているとき許容値を外れた項目のみを表示 許容値を外れた項目のみ表示されているとき全項目表示
プレビューボタン		選択した患者の患者またはスタッフ評価表のプレビュー表示を行う
印刷ボタン		選択した患者の患者またはスタッフ評価表の印刷を行う
検査結果ボタン		検査結果参照を起動
診療マニュアルボタン		透析診療マニュアルを表示
終了		終了

患者リストから参照する患者を選択して [表示] ボタンを押下します。



選択した患者の判定結果が表示されます。

項目	検査日	検査値	許容範囲	単位	判定	コメント/メモ	コメント/備考
赤血球数	20080425	18.72					
赤血球容積率	20080425	32.33					
赤血球数	20080425	189		%			
赤血球容積率	20080425	154.3		cm			
赤血球容積率	20080425	78.8	18.3~25				
赤血球容積率	20080425	42.8		kg			
赤血球容積率	20080425	8.1	1~11				
赤血球容積率	20080425	44.8		kg			
赤血球容積率	20080425	43.4		kg			
赤血球容積率	20080425	1.4	1~4	g			
赤血球容積率	20080425	1.1	1.2~		注意		
赤血球容積率	20080425	1.2	0.7~1.5	g/dl			
赤血球容積率	20080425	388.3	20~45	mg/dl	注意	蛋白尿野濃縮または過剰不足	
赤血球容積率	20080425	8.2		mg/dl			
赤血球容積率	20080425	13.8	~10	g			
赤血球容積率	20080425	13.4	80~	g			
赤血球容積率	20080425	118	80~100	mg/dl	注意	赤血球容積率の増大(腫血)・高血球。蛋白尿野濃縮、真性貧血。赤血球容積率の低下(過剰不足)を伴う場合があります。併発はありますか?	
赤血球容積率	20080425	48		mg/dl			
赤血球容積率	20080425	10.3		g			
赤血球容積率	20080425	1.4	1~18	mg/dl			

各項目の表示サイズ（行の高さ，列の幅）は見やすいように調節出来ます。

許容値を外れた項目については，判定結果が注意または何らかのコメントがある項目は黄色に，警戒は薄赤に，警告は赤にそれぞれ背景色が変わります。

貧血に関する判定とカルシウム・リンに関する判定は薄緑の背景色となります。

[切替] ボタンは，許容値を外れた項目と全項目表示が交互に切り替わります。貧血に関する判定とカルシウム・リンに関する判定は常に表示されます。

項目	検査日	検査値	許容範囲	単位	判定	コメント/メモ	コメント/備考
赤血球容積率	20080425	1.1	1.2~		注意		
赤血球容積率	20080425	388.3	20~45	mg/dl	注意	蛋白尿野濃縮または過剰不足	
赤血球容積率	20080425	118	80~100	mg/dl	注意	赤血球容積率の増大(腫血)・高血球。蛋白尿野濃縮、真性貧血。赤血球容積率の低下(過剰不足)を伴う場合があります。併発はありますか?	
血球	ヘマトクリット	32.33	18.3~25	%	警戒	赤血球容積率の増大(腫血)・高血球。蛋白尿野濃縮、真性貧血。赤血球容積率の低下(過剰不足)を伴う場合があります。併発はありますか?	
血球	ヘマトクリット	29	27~45	%	警戒	赤血球容積率の増大(腫血)・高血球。蛋白尿野濃縮、真性貧血。赤血球容積率の低下(過剰不足)を伴う場合があります。併発はありますか?	
血球	貧血に関する判定					赤血球容積率の増大(腫血)・高血球。蛋白尿野濃縮、真性貧血。赤血球容積率の低下(過剰不足)を伴う場合があります。併発はありますか?	

プレビューする患者と評価表の種類をチェックして [プレビュー] ボタンを押下すると最新の判定結果を評価表としてプレビューします。

検査評価表

項目	検査日	検査値	参考範囲	単位	判定	コメント
血球算計	20080425	11.22				
赤血球数	20080425	13.71				
赤血球数	20080425	946				
赤血球	20080425	154.5				
赤血球	20080425	79.8	65.0~75			
血小板	20080425	42.9				
血小板	20080425	9.1	1.0~3			
赤血球	20080425	44.8				
赤血球	20080425	44.8				
赤血球	20080425	3.6	0~4			
血小板	20080425	3.1	1.2~			注意
血小板	20080425	7.1	6.0~7.0	g/dl/mm		
血小板	20080425	104.1	10~40	mg/dl		注意
血小板	20080425	8.2	~10	mg/dl		
血小板	20080425	18.8	~10			
血小板	20080425	57.4	50~			
血小板	20080425	518	10~100	mg/dl		注意 血小板の数は正常範囲から下位の値を示しています。血小板減少症の可能性があります。医師に相談してください。
尿酸値	20080425	86		mg/dl		
尿酸値	20080425	86.9				
尿酸値	20080425	8.4	7~10	mg/dl		
尿酸値	20080425	3.9		mg/dl		
尿酸値	20080425	53.4				
尿酸値	20080425	9.2	8~10	mg/dl		
尿酸値	20080425	2.8		mg/dl		
尿酸値	20080425	10.0	10~145	mg/dl		
尿酸値	20080425	142	10~145	mg/dl		
尿酸値	20080425	3.9	3.0~6	mg/dl		
尿酸値	20080425	3.8	3.0~5	mg/dl		
尿酸値	20080425	100	95~105	mg/dl		
尿酸値	20080425	401	95~105	mg/dl		
尿酸値	20080425	7.8	1.0~2.0	mg/dl		
尿酸値	20080425	7.2	1.0~2.5	mg/dl		

印刷する患者と評価表の種類をチェックして [印刷] ボタンを押下すると印刷設定画面が表示されます。必要事項を入力して [印刷] ボタンを押下すると最新の判定結果を評価表として印刷します。

印刷設定画面

プリンタの選択

プリンタ: Canon LBP5040 (RPS) (DUALINSEPERV...)

状態: 準備完了

印刷: フォールアウト

詳細設定

プリントの枚数

ページ範囲

すべて

個別のページ

現在のページ

ページ指定: 1-2

ページの番号、またはページ範囲の範囲を入力して(ページ 1-12)

印刷

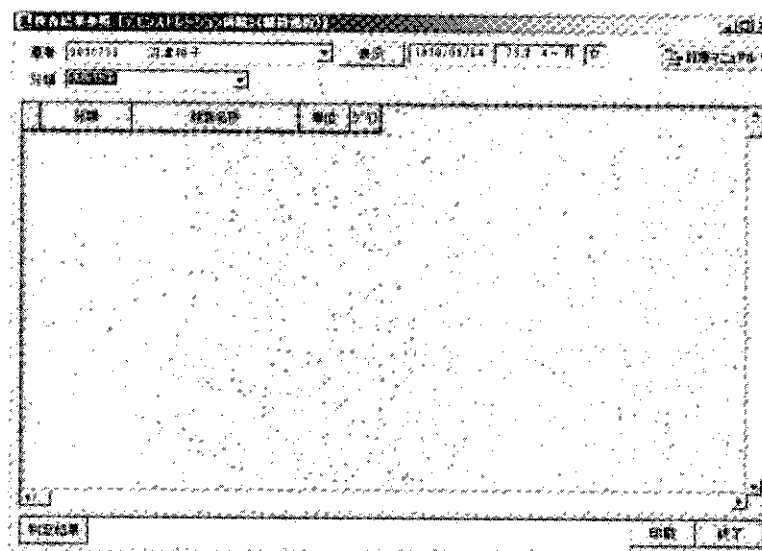
キャンセル

8.13 検査結果参照

患者毎の検査結果を経時的に参照します。

項目	必須	説明
患者リスト	○	参照する患者を選択
分類		参照する分類を選択 選択しないとき全ての項目を参照
表示ボタン		選択した患者の検査結果を表示
印刷ボタン		選択した患者の検査結果を印刷
判定結果ボタン		判定結果参照を起動
診療マニュアルボタン		透析診療マニュアルを表示
終了		終了

参照する患者をリストから選択して [表示] ボタンを押下します。



分類を選択するとその分類に括られた項目だけが表示され、分類を選択しない時は全ての項目が表示されます。

分類	検査項目	単位	分類	20020426	20020419	20020413	20020327
尿検査	尿比重			10.22	10.24	10.12	11.29
尿検査	尿糖			12.23	12.23	12.18	14.25
尿検査	尿蛋白	g		130	184	193	186
尿検査	尿潜血	+		154.5	154.5	154.5	154.5
尿検査	BUN			19.0			
尿検査	血球比	%				54.1	
尿検査	白血球	個		42.5	42.5	45.5	45.5
尿検査	白血球	個		0.1			
尿検査	白血球	個		44.9	45.5	45.2	45.6
尿検査	白血球	個		43.4	43.1	42.7	42.6
尿検査	白血球	個		5.4			
尿検査	KT/V			1.1			
尿検査	尿蛋白	g/day		1.9			
尿検査	TACurea (参考)	mg/dL		106.1			
尿検査	尿蛋白 (参考)	mg/min		0.2			
尿検査	尿蛋白/クレアチニン	mg		13.9			
尿検査	尿蛋白/クレアチニン	mg		51.4			
尿検査	尿蛋白	mg/dL		116		79	76
尿検査	尿蛋白	mg/dL		81		33	24

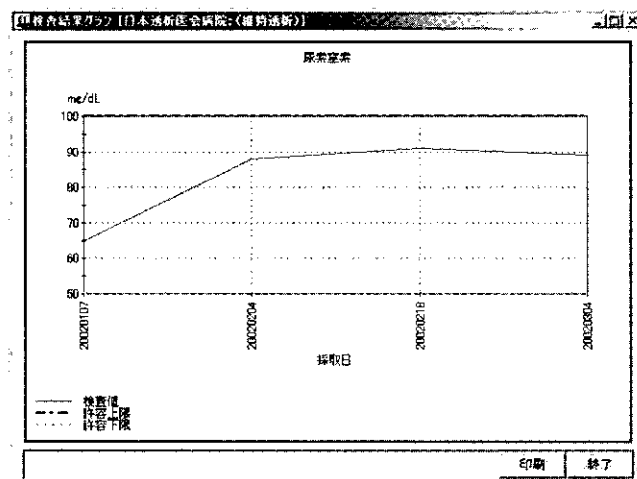
縦軸に検査項目、横軸に採取日を配置して検査結果を経時的に表示します。採取日は左を現在とし、右にいくにつれ過去に遡って配置されます。

動態値は最新の判定処理結果として蓄積します。過去の判定をする機能は実装していません。従って動態値の機能を実装した時点からの参照となります。

参照する患者を変えるときは患者を選択し直して [表示] ボタンを押下して下さい。

各検査項目の [グラフ] ボタンをクリックすると折れ線グラフが表示されます。(グラフの要素が単数ならば棒グラフとなります。)

グラフは複数表示できます。



縦軸が検査値で横軸が採取日です。採取日は左が過去で右が現在となります。

検査値は赤の実線で表示されます。許容値が設定されている項目については上限を青の長い鎖線、下限を短い鎖線で表示されます。

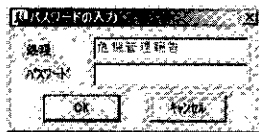
[印刷] ボタンを押下すると表示されているグラフが印刷されます。

8.14 危機管理報告

感染症の感染状況を参照します。危機管理報告を使用するにはパスワードが必要となります。パスワードは管理者にお問い合わせ下さい。

項目	必須	説明
パスワード		セキュリティ設定で登録したパスワード
OK ボタン		危機管理パスワードの正当性を確認して危機管理報告画面表示
キャンセルボタン		終了
プレビューボタン		危機管理報告のプレビュー表示
印刷ボタン		危機管理報告の印刷
終了		終了

危機管理報告のパスワードを入力して [OK] ボタンを押下します。



感染症毎に陽性となっている患者の一覧を参照します。感染症リストから参照する感染症を選択すると、その感染症で陽性の患者が表示されます。

陽性	採取日	発症日	結果値	患者コード	患者名
*	20020621	20020621	+	0000686	山田英希
*	20020621	20020621	+	0000682	中目真穂
*	20020621	20020621	+	0000688	新橋麻子
*	20020621	20020621	+	0000698	東京代美子
*	20020621	20020621	+	0000709	百島純子
*	20020621	20020621	+	0000739	野末水安平
*	20020620	20020620	+	0000794	田嶋時希三
*	20020620	20020620	+	0000774	大島時雄江
*	20020620	20020620	+	0000762	大島和生
*	20020620	20020620	+	0000613	林野町幸
*	20020621	20020621	+	0000626	中野美子
*	20020620	20020620	+	0000660	大塚雅典

直近（患者毎に一番最近の採取日）の検査で陽転した患者は、警告欄に“*”でマーキングされて背景色が薄赤で表示されます。直近の検査で判明した患者数はその合計患者数です。

[プレビュー] ボタンを押下すると危機管理報告をプレビューします。

警告	開始日	直近検査日	結果値	患者コード	患者氏名
*	20020520	20020520	+	0000880	大崎勝典
*	20020520	20020520	+	0000819	神保町栄
*	20020520	20020520	+	0000774	大井町町江
*	20020520	20020520	+	0000764	田園調布園三
*	20020521	20020521	+	0000825	中野至子
*	20020521	20020521	+	0000782	大松和三
*	20020521	20020521	+	0000739	藤巻ノ水登平
*	20020521	20020521	+	0000703	目黒好子
*	20020521	20020521	+	0000693	東京代英子
*	20020521	20020521	+	0000656	野崎昌子
*	20020521	20020521	+	0000692	中目黒健治
*	20020521	20020521	+	0000556	渋谷美香

[印刷] ボタンを押下すると印刷設定画面が表示されます。必要事項を入力して

[印刷] ボタンを押下すると危機管理報告を印刷します。

8.15 患者マスタ訂正 VOID

患者マスタの訂正 VOID をします。

項目	必須	説明
使用者 ID	○	訂正 VOID 入力するスタッフの使用者 ID
パスワード	○	訂正 VOID 入力するスタッフのパスワード
訂正許可者	○	訂正 VOID を許可した管理者名
訂正内容	○	訂正 VOID の理由と内容を簡潔かつ具体的に記入
OK ボタン		使用者 ID とパスワードの正当性を確認して入力内容を登録
キャンセル		終了

患者マスタを訂正 VOID する事について責任の所在を入力します。